



## 研究テーマ

児童・生徒の認知実態に基づいて、技術・工学リテラシー育成に向けた技術教育を研究しています。主な対象は中学校技術科や小学校プログラミング教育ですが、最近では学校教育以外にも視野を広げています。

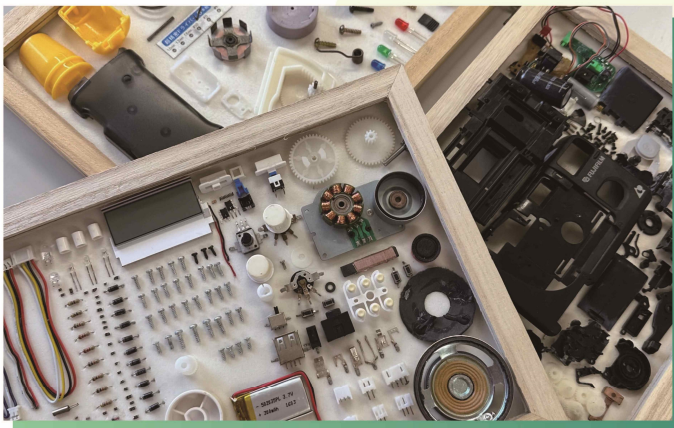
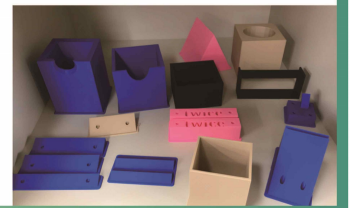
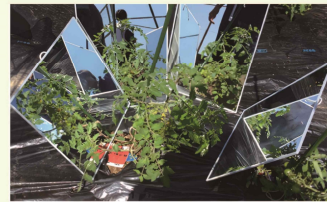
## 研究内容・魅力

AI や遺伝子組み換えなどの賛否が分かれる技術に対して、「便利そうだからいっぱい使ったらいい」「悪くなったらやめればいい」など安易な考えを持つ生徒が多くいます。開発者や消費者など多様な視点を取り入れた PjBL\* を試みた結果、「今の技術はとても便利なものだと思うが技術が発達しすぎると環境を破壊することになると思うので、技術と環境のバランスを保っていくことが大切だと思った。」などの考えを引き出すことができています。

\*PjBL...Project Based Learning (問題解決型学習)

## キーワード

# 初等中等教育 # 技術教育 # 技術・工学リテラシー  
#PjBL # ワークショップ



## これまでの学外連携・社会貢献・地域連携活動

小中学校に出向き、技術教育や ICT 活用に関わる教員研修を行っています。また、「Learning by Making」をコンセプトとする、教育的知見を取り入れたものづくりワークショップの企画・運営をしています。例えば、発達障害支援に取り組む NPO 法人「コドモオフィス」と連携し、技術に強い興味関心を抱いている ASD 児を対象としたジャンク品の分解・分解標本の製作ワークショップを開催しました。

## ひとこと

奈良教育大学内に、3D プリンタやレーザー加工機などのデジファブ機器を設置した共同工房「つくりば」をオープンしました。椅子や PC ラックなど多くの什器は学内のリユース品を利用しています。今後、技術をハブとして、教職員や学生だけでなく、子どもたち、地元企業などを巻き込んだ、多様なコミュニケーション、コラボレーションが生み出される空間を目指しています。

